

2024年4月25日

報道関係者各位

国立大学法人筑波大学

## 筑波大学の人材育成プロジェクト、科学技術振興機構で採択 博士後期課程の3人に1人以上が支援対象に

この度、筑波大学から昨年度に申請していましたが、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）『次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）』の新規プロジェクトとして採択されました。これにより、博士後期課程で、年平均にして565名が経済的支援の対象となります。これは、これまでの平均数を大きく上回るものです。

本学の博士後期課程の学生は、およそ2600名。このうち支援対象外となる学振特別研究員、国費留学生を除くと、およそ1450名です。3人に1人以上、4割近くの学生が支援を受けることになりました。非常に高い割合で経済的な支援が実施されることになり、卓越した人材の輩出に引き続き、取り組んでまいります。

SPRING（スプリング）は博士後期課程学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指す事業です。本学が提案したのは、「学問分野の壁を越えて多様な人材と共創できるトランスポーター型価値創造人材育成プロジェクト」というものです。採択にあたっては、これまでのSPRINGにおける実績、今回のビジョンやビジョン実現のための目標が高く評価されたと考えています。

筑波大学は体育や芸術などを含めて幅広い専門分野が連携しながら先端の研究を行っています。今回、令和6年から8年にかけて博士後期課程の大学院生の4割近くが、経済的な支援を受けることで、自然科学系や人文社会系のみならず、従来の学問分野の壁を越えて新たな価値を創造できる人材の育成が、一層期待されます。

また、本学の特徴でもある国際性でいいますと、今回の支援の資格を有する留学生は、およそ470名となります。この中から、日本の科学技術・イノベーションの創出に貢献し、国際競争力を強化させる人材を念頭に支援を検討していきます。

一方、JSTの『世界で活躍できる研究者戦略育成事業』では、全国5大学が採択されていますが、筑波大学の「大学×国研×企業連携によるトップランナー育成プログラム（TRiSTAR）」もその一つです。本学では、若手研究者のTRiSTARフェローがSPRING選抜学生の研究発表を指導したり、SPRING選抜学生がTRiSTARフェローから学ぶ機会を設けてきました。こうした研究機関や企業との連携・交流も更に進めてまいります。

（参考）令和5年度のSPRINGで支援された学生数 351名  
割合としては全国で3位、支援額としては、東北大学に次いで2位

問い合わせ先

筑波大学広報局

TEL: 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp